

ラビット通信

「聴覚過敏症」という病気をご存知でしょうか？
 いま、子供や若い人を中心に増えてきている症状です。
 些細な音が鼓膜をナイフで刺される状態になり、凶器で殴られるようなショックを受けると言われています。原因は心的ストレスやプレッシャーに長くさらされると言われていますが、まだまだ医師の間でも手探りの状態です。現状は精神科・診療内科に通うようですが治療法はなく、刺激を受けないためのイヤーマフと呼ばれるヘッドホンのような物で耳を守り、リラックスを心掛ける事とされます。苦手な音がある人が身を守るためにつけるイヤーマフ（耳全体を覆う保護具）ですが、一見すると音楽を聴いているなどと誤解を受け非難される事でさらに症状が悪化する事があるといえます。そこで「聴覚過敏保護用シンボルマーク」が考案されました



このマークのヘッドホンを見かけたら、温かく見守ってあげてください。



顧客の皆様へ
 点検・クリーニング会のご案内
 平成31年5月28日（火）

目安ですので、ご都合に合わせてご来店下さい。

追伸 乾燥剤の色を確認下さい。
 裏面のシールがピンクか白の場合は交換時期です

補聴器のラビット

埼玉県狭山市狭山台1-18-11 ☎04-2001-9144
 営業時間 9:30~17:30 定休日 木・日・祝日



NHKのニュースに映りました！

狭山市でさやビズ(SAYA-Biz)という物が始まりました。通常に暮らしていると、あまり関係のない施設ではありますが埼玉県で初創設という事でも注目されています。先日行った「ビジネスプランコンテストで話した内容を相談しに来たら？」と、声を掛けて頂きました。当日NHKの撮影に出して頂けるとの事で、いそいそと出掛けて行きました。4月26日「おはよう日本」で放送すると聞き、朝からテレビの前でスタンバイして待っていましたが、放映されず、カットになったのかと思っていたところ「ひるまえ、ほっと」に変更されたと連絡があり、やっと見る事が出来ました。インタビューでは色々聞かれましたが、放映番組が変更されたためか予定より出番が短くなっていました。でも良い経験をさせて頂き面白かったです。

2019年4月から狭山市ビジネスサポートセンター(Saya-Biz)業務を開始します。相談業務は4月15日(月曜日)からです。相談お待ちしております！



左から林プロジェクトマネージャー、小谷野狭山市長、小林センター長

【狭山市ビジネスサポートセンター(Saya-Biz)概要】

狭山市内の中小企業・小規模事業者等の抱える経営課題解決と売り上げ拡大に向けた支援を行う「業界」のビジネスコンサルティングセンターです。静岡県富士市産業支援センター(F-Biz)をモデルとした洋走型の経営相談支援を行います。これは埼玉県内の自治体として初めての取り組みです。



一緒に寄りそって考えてもらえるような感じ
 すごく安心感を得ることができた

お客様へのお知らせ

6月5日(水) メーカーセミナーによりお休みとなります。

6月27日(木) 狭山市産業センターにて熟年ばんざいセミナー
 「難聴と認知症の深い関係」

よろしくお願いたします。